

平成 2 1 年度

第 3 回五城目町地域公共交通協議会 会議録

【会議の日時・場所】

日 時 平成 2 2 年 1 月 2 1 日 (木) 午後 2 時 0 0 分より

場 所 役 場 2 階 正 庁

【協議案件等】

報告 (1) 乗合タクシー馬場目線の運行実績 (10 月～12 月) について

報告 (2) 五城目町循環バス計画の進捗状況について

協議 (1) 平成 2 1 年度地域公共交通活性化・再生総合事業の自己評価について

協議 (2) 平成 2 1 年度五城目町地域公共交通協議会補正予算 (第 1 号) について

協議 (3) 五城目町地域公共交通総合連携計画の一部変更について

協議 (4) 平成 2 2 年度事業実施計画 (案) について

協議 (5) 五城目町富津内地区デマンド型乗合タクシー実証運行実施要綱 (案) について

協議 (6) 平成 2 2 年度五城目町地域公共交通協議会予算 (案) について

協議 (7) 内川線バス路線のルート変更について

協議 (8) 五城目町循環バス計画の一部変更について

協議 (9) その他

【出欠状況】

出席委員 別紙「委員出欠表」のとおり 20 名

欠席委員 別紙「委員出欠表」のとおり 8 名

事務局 別紙「委員出欠表」のとおり 8 名

【会議の内容・発言要旨】

午後 2 時 0 0 分開会

○事務局 (石川まちづくり課長)

定刻になりましたので、只今から平成 2 1 年度 第 3 回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。開会に先立ちまして、武田会長が挨拶を申し上げます。

○武田会長

一言だけ挨拶を申し上げたいと思います。

本日はお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。又、今年になって初めての協議

会ということで、よろしくお願い致します。

地域公共交通関係ですが全国的にも大変な状況にあります。昨年11月、国交省では交通基本法検討会を立ち上げて地域から地域、町から町へとつなぐ「毛細血管」に力を入れようという協議がなされております。昨日の秋田魁新聞には青森県鯉ヶ沢町の「住民参加の路線バス」のこと、又、愛媛県のデマンドタクシーの紹介がありました。今朝の新聞でも五城目町の循環バスが紹介されており、紙面に大きく公共交通についての地域のあり方を紹介しております。

今日の案件は、報告事項(1)、(2)、協議事項が(1)から(8)、その他とあるわけですが、皆さんの積極的なご意見を賜りたいと思います。今日は、報道の方々が見えておりますが緊張しないでたくさんのご意見を賜りたいと思います。協議の方をよろしくお願いいたします。

湖東病院についてですが、町内会長会、猿田会長が見えておられますが、署名運動に尽力されて大変ご難儀をおかけしました。感謝したいと思います。これまで8,900名の署名を得られまして、これは五城目町の人口の80%にあたります。これらの署名を携えて2月4日、周辺市町村長が県に住民の熱意を届けたいとしているところであります。湖東病院については、今後もいろいろな動きがみられるだろうと思いますが、地域の医療について今後も皆様から協力をいただくことになると思います。よろしくお願い致します。

このところ、天候が暖かかったり寒かったりと寒暖の差が激しくなっております。皆様には健康に留意され風邪などひかないようにお祈り申し上げます。それではよろしくお願い致します。

○事務局（石川まちづくり課長）

これ以降の会議の進行は規約により会長よりお願いします。

○武田会長

進行を務めさせていただきます。ご協力をお願い致します。議事に入る前に私の方から会議録署名員を選任いたします。

どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○委員全員

会長一任。

○武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、湖東3町商工会 鷺谷嘉三郎委員、大川地区町内会長会 八柳善之丞委員の2名を指名いたします。よろしくお願い致します。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思っております。まず、報告事項ですが、事務局より報告事項(1)について報告をよろしくお願い致します。

○事務局（大石）

（報告（１）乗合タクシー馬場目線の運行実績１０月～１２月について資料（スライド）により説明）

○武田会長

ありがとうございました。只今の報告についてご質問、ご意見はありませんか。

○委員全員

特になし。

○武田会長

それでは報告（２）について事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

（報告（２）五城目町循環バス計画の進捗状況について資料（スライド）により説明）

○武田会長

このことについては、協議の中で内容が話し合われることになっておりますが何か質問はございませんか。

○委員全員

特になし。

○武田会長

それでは協議に入ります。協議（１）平成２１年度地域公共交通活性化・再生総合事業の自己評価について、事務局より説明願います。

○事務局（大石）

（協議（１）を資料により説明）

○武田会長

ありがとうございます。皆さんからご意見を賜ります。運輸局に自己評価の報告をするということになっておりますので皆さんからご助言をいただきたいと思っております。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

ただ今の説明から、乗合タクシーは利用が少ないと大変な訳ですが、少なくなる理由をもう少し具体的に説明してください。

○事務局（大石）

土、日曜日の利用者が少なくなっております。他に町の朝市関係のイベントの日も運行している訳ですが、利用者が少ないです。これは、休日は家族が家にいることも考えられますがイベントとタイアップしながらピンポイントで利用者を増やす方策を考えたいと思います。

○保坂啓一委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

教えていただきたいのですが、1便あたりの利用者は何人くらいでしょうか。

○事務局（大石）

算出した資料によると5～6人という数字になっています。

○保坂啓一委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

それはバス運行の時より増えていますか。

○事務局（大石）

バスは、土、日曜日もフルに運行していましたが、運行便数も多かったので一概には言えません。平日だけを比べてみると乗合タクシーとなって利用が増えている日もあると思います。

○保坂啓一委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

実績を出す時は、前と比較していると思いますが、増えているとか減っているとかは比較した方が表現がわかりやすいと思います。報告書とは関係ありませんが、乗合タクシー馬場目線について馬場目地区の会長さんに感想を伺いたいと思います。実際に利用してみてどんな感触をもっているのか、路線バスはいいが乗合タクシーはかっこ悪いとか、バスは使いやすいとかイメージがあると思います。実際に利用している人の意見を聞きたいと思います。

○草皆稔委員（馬場目地区町内会長会）

利用者の感想を聞く機会は少ないです。近所でよく利用しているのは4人から5人くらいではないかと思います。先程の説明の中の自主性についての考え方は、私も青森県鯉ヶ沢の資料を持っていますが馬場目地区を考えた時、地域住民の認識が甘いのではないか、危機感が広まっていないのではないかと感じます。なかなか自主性が備わっていない、それが持続性の問題に関わってくるのではないかと思います。鯉ヶ沢町に学ばなければならないと感じます。協賛金についても掘り下げていって、私たちの問題について、相互扶助、直接利用者が何とかしなければという意識を強く持たなければいけないと思います。

○武田会長

地域の交通はみんなで支えていかなければならない。そういう意識をもたなければならぬという意見でしたが他にありませんか。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

旧町内も含めて全町的にやるのは大変です。利用される人たちが協力しあうという形でやるのがいいと思います。

○武田会長

総合的な問題は「その他」で話し合ってもらうことにして、今は自己評価についてなのでこのことを検討してもらいたいと思います。事務局案で承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

それでは協議（１）については、承認したものといたします。次に、協議（２）平成２１年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第１号）について事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

（資料により説明）

○武田会長

この点について、ご質問はありませんか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

それでは協議（２）について承認といたします。次に協議（３）五城目町地域公共交通総合連携計画の一部変更について事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

（変更部分を資料により説明）

○武田会長

富津内地区デマンド型乗合タクシーの実証運行の事業計画を追加し４月から運行するということですが何かありませんか。なければ協議（３）について承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

それでは次に、協議（４）平成２２年度事業実施計画（案）について事務局より説明してください。

○事務局（大石）

（変更部分を資料により説明）

○武田会長

変更したいという内容ですが何かありませんか。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

１年間の実証運行をやってみて、本運行にするということですが、このとおり高齢化が進む中、啓蒙して利用者を増やしていかなければいけないと思います。今後の利用者の推移はいかがですか。

○事務局（大石）

自己評価の中にもありますがなかなか増えていく要因はないようです。湖東病院が抱える諸事情からくるもの、又、高齢からくる利用者の自然減など問題があります。これらから考えても新しい利用者の啓蒙が必要になってくると思います。免許証返還者に対しても考えていかなければならないと思っています。

○武田会長

他に何かありませんか。

○八柳善之丞委員（大川地区町内会長会）

今まで馬場目地区で乗合タクシーをやってきて、４月から富津内地区ということですが、その場合において、各地区老人クラブや町内会に働きかけはしているのでしょうか。

○事務局（大石）

馬場目地区もそうでしたが、富津内地区についても今までと違う状況になるのでその点はきめ細かに説明会をしたいと思っています。馬場目地区は集落単位で説明会を行いました。生活の足のない人が対象なので遠くで説明会を行っても意味がありません。細かに説明に行きたいと考えています。

○武田会長

他にありませんか。なければ総合的に「その他」で話し合ってもらいたいと思います。協議（４）について承認してよろしいでしょうか。

○ 委員全員

異議なし

○武田会長

次に協議（５）五城目町富津内地区デマンド型乗合タクシーの実証運行実施要綱（案）について事務局から説明をお願いします。

○事務局（大石）

（資料により説明）

○武田会長

説明がありましたが、馬場目地区の実施要綱をもとに富津内地区の実証運行実施要綱を制定したということですが、その変更の部分も含めて何かありませんか。

○佐々木委員（代理：原田）（合資会社五城目タクシー）

馬場目地区の要綱では、現在は出発時間の３０分前までに予約をすることになっていますが、この富津内線のように、当初は２時間前までに予約をすることになっていました。でもいろいろなお客さんがいて、出発直前に予約の電話が入ることもあります。そのような時でもお客さんに対してのことなので、予約電話が入った以上はそれに対応してきたという経緯があります。

○武田会長

他になれば協議（５）を承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

ありがとうございます。協議（６）平成２２年度五城目町地域公共交通協議会予算（案）について説明願います。

○事務局（大石）

（資料により説明）

○武田会長

皆さんからご意見を賜りたいと思います。財政が厳しくなっておりますが、よろしく願います。

○委員全員

特になし

○武田会長

では協議（６）については承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

協議（７）内川線バス路線のルート変更について事務局より説明願います。

○事務局（大石）

（資料により説明）

○武田会長

これについて、何かありませんか。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

上山内、下山内には民家が多くある、新里町にはあまり人が住んでいないがバイパスを通ると道の駅があるという実態です。乗合タクシーの関係でこういうルートになったのですか。やはり上山内、下山内町内を運行した方がいいのではないのでしょうか。

○事務局（大石）

高樋線を考えた時、富田から山内方面とバイパスに路線が分かれます。内川線も考えると乗合タクシーと同じルートを走ると客を取り合うことになります。そこで、旧国道は道路が狭いので乗合タクシー、バイパスは広いので路線バスという風に役割分担を考えました。

○武田会長

役割分担をしてこうしたという、この点について何かありませんか。

○齊藤委員（代理：児玉）（秋田中央交通株式会社）

競合して走る部分は客の取り合いになります。新里町と道の駅に停留所を設けて新規ルートを考えた方が客の奪い合いをしなくて済みます。私の方では、４月からこの方向で準備を進めているところです。

○猿田由男委員（五城目地区町内会長会）

下山内、上山内、中島町内は除外されるということでしょうか。

○事務局（大石）

乗合タクシーが運行されることとなります。付け加えさせてもらおうと、富田地区は人数が多くなるということから内川線で担当してもらおうこととなります。登録者を取らないということです。

○武田会長

協議（7）を承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

それでは次の（8）五城目町循環バス計画の一部変更について事務局よりお願いします。

○事務局（大石）

（変更部分について説明）

○一関広美委員（秋田中央トランスポート株式会社）

追加で説明させていただきます。お客様サイドで考えてみた時に、バスターミナル、イオン間において、前は4往復という案でしたが今回は7往復できるようになっており、より利用しやすいのではないかと思います。利用料金についても、ワンコインで、イオンに行くとか道の駅に行く時、友だちと行く場合はかえってタクシーより高くなってしまうということになります。割引料金にすることで利用しやすくなると思います。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

これから恋地山荘跡地を整備してもっとよくする計画があります。又、元杉沢小中学校を絵画の展示教室にして人を集める、他にネコパリ岩もあります。バスを走らせるだけでなくスタンプを用意して乗客を楽しませるなど企画してはいかがでしょうか。

○武田会長

貴重なご意見、ありがとうございます。トランスポートのご厚意による発案で、試験的に1年間運行するというものです。将来にむけて参考になる意見だと思います。

○草皆稔委員（馬場目地区町内会長会）

他地域からの利用も予想されます。安全対策は図られているのか、ガイドは就くのかなどいろいろありますが、客へのサービスがあってもよいと思います。コースを見ても、40分、50分も黙って座ったままというのは大変で、例えばコースの特徴をテープで流すなどのサービスを考えると五城目町の観光PRにつながるのではないかと思います。この機会に観光PR

ができればよいと思います。

○武田会長

貴重なご意見ありがとうございます。この場に産業課職員も同席しております。地域にはいろいろな資源があります。これらの歴史的なものをまとめて紹介するなど、コースを巡る40分余の時間を退屈させないような工夫について参考意見として承っておきたいと思います。

○佐々木憲夫委員（五城目町老人クラブ連合会）

楽しみにしています。運行時間をなるべく早く発表して欲しいです。

○一関広美委員（秋田中央トランスポート株式会社）

ありがとうございます。案は作ってあります。これは当社だけでは無理な事業です。地元、地域に発信して進めていく事業なので案を提案しながらなるべく早く、できれば来月にでも発表できればいいと考えております。期待して欲しいと思います。

○保坂啓一委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

来年度から新しい県の補助制度の準備をしています。その中に、観光のためのルートは補助対象として考えておりません。その状況の中での試験運行となるわけですが、どうしたらやりやすいのか、試験運行をする中で考えてもらいたいと思います。この案では起点が多すぎると思います。イオン、道の駅、ターミナル、観光地と時間もかかりすぎると思います。これらも含めて試験運行で考えてもらいたいです。

○伊藤英紀委員（五城目町身体障害者協会）

ネコバリ岩までは道が狭いです。一般客も入るので、周辺の林道等を利用して周遊できるコースはできないのでしょうか。一方通行にして行き帰りを別ルートにするとスムーズに走れと思います。

○武田会長

第2回協議会でも検討しましたが安全面を考慮して考えなければならない問題です。第2回協議会に話し合った経緯があります。協議（8）について承認してよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

協議（9）その他について何かありませんか。

○佐々木委員（代理：原田）（合資会社五城目タクシー）

富津内地区の乗合タクシーについてお願いがあります。落合地区の乗降場所は国道で、大型が走るので危険です。一箇所に決めて欲しいです。

○事務局（大石）

馬場目地区は県道で、国道より交通量が少ないので車道に停めることが容易にできたが、富津内地区は家の前が広い場合がすべてではありません。特に落合、台地区は安全面を考えると戸口を基本としながら、地区に一箇所拠点施設を設置するとしているので、執行上から配慮した運行にしたいと考えています。

○佐々木委員（代理：原田）（合資会社五城目タクシー）

戸口はなしということで、町内に一箇所にすることで決めて欲しいです。

○事務局（大石）

拠点施設については、事務局と町内会とで相談して決めているので、承認後、細かいところは町内会と決めていきたいと思います。

○佐々木委員（代理：原田）（合資会社五城目タクシー）

危険な所なのでよろしくをお願いします。

○武田会長

細かい意見も今までたくさん出されましたが、今後じっくり話し合っていきたいと思います。この他に、何かその他としてありませんか。

○大石（事務局）

協議（9）その他についてですが、富津内地区の実証運行は委託業者の決定をして進めていかなければなりません。方針としては、今までの馬場目地区の時は3社による見積り競争により事業者を選定し五城目タクシーさんが現在運行しているわけです。この方法は、事務局としても初めてなので見えないところもあり、価格競争となりました。この事業は継続的にやることなので価格重視の単純な競争では過渡競争になる可能性が高くなり協議会側が意図しない方向に追い込まれる危険性があります。それは避けたいことです。

二つめとして、馬場目地区の実証運行からわかったことですが、乗合タクシーは戸口を基本とする区域運行です。業務従事者すべてに住宅知識が必要です。利用者は高齢者が多いことから常に細かな対応も必要になります。又、オペレーターの手腕も問われるところです。以上のことから、実証運行の段階ではありますが、五城目町に精通している事業者が適任であると考えます。

三つめとして、普通タクシーに与える影響を調査した結果、運送人員、運送収益を見た場合、1割程度減になったものと考えられます。特定の業者へすべて業務が偏ってしまうと、運行委

託料の入らない業者への影響はもっと大きくなると思います。まとめとして、富津内地区の委託料は、単純な価格競争とするのではなく、馬場目地区の状況を勘案して決めるような方策がいいと思います。運行业者については、地区割りし業務分担するということも検討したいと思います。将来的には、示された業務に対してどのように対応するのか、利用者を増やすためにはどうするのかなど、命題に回答するプロポーザル方式についても検討していきたいと思います。

○武田会長

今後の予定としては、どのように考えていますか。事務局からお願いします。

○事務局（大石）

今回の協議会は監査会を経てから、来年度以降に開催したいと考えています。委員の任期が2年で切れるので改めて委員の委嘱ということになりますのでよろしくお願いします。

○佐々木明委員（秋田中央交通労働組合）

登録制についてですが、私も馬場目地区の住民ですがまだ一度も乗合タクシーに乗ったことがありません。一度乗ってみたいとは思いますが、その時2,000円の登録料がひっかかります。乗車券としてその後使えるとしても、一度だけ乗ってみたいとか、観光客のことも考えると登録制は廃止という考えはないのでしょうか。各委員それぞれ、再度考えて欲しいと思います。


○武田会長

回を重ねるごとにいろいろな意見を出し合って協議していくのが協議会と心得ています。


以上をもちまして第3回五城目町地域公共交通協議会を終了いたします。長時間ご苦勞様でした。

午後4時05分終了

会議録署名員
(鷺谷 嘉三郎)

鷺谷 嘉三郎 

会議録署名員
(八柳 善之丞)

八柳 善之丞 

五城目町地域公共交通協議会

【委員】

平成22年1月21日現在

No	分野	所 属	役 職	氏 名	備 考	1/21 出欠状況
1	五城目町	五城目町	副町長	武 田 和 栄	会長	出席
2	公共交通事業者	秋田中央交通株式会社	取締役 営業本部長	齊 藤 芳 博		代理 児玉了
3	公共交通事業者	秋田中央トランスポート株式会社	取締役 統括部長	一 関 広 美		出席
4	公共交通事業者	合資会社五城目タクシー	常務	佐々木 輝 毅		代理 原田靖
5	公共交通事業者	湖東タクシー有限会社	代表取締役	北 嶋 透志雄		出席
6	公共交通事業者の運転者が組織する団体	秋田県交通運輸産業労働組合協議会 秋田中央交通労働組合	書記長	佐々木 明		出席
7	道路管理者	秋田県秋田地域振興局 建設部 企画道路課	課長	浅 野 英 樹		出席
8	道路管理者	五城目町建設課	課長	石 井 光 雅		代理 原田功輝
9	連携計画に定めようとする事業を実施すると見込まれる者	株式会社あつたか五城目	総務部長	土 橋 文 平		欠席
10	秋田県警察	五城目警察署	交通課長	田 中 久 好		出席
11	秋田県	秋田県建設交通部建設交通政策課	上席主幹	保 坂 啓 一		出席
12	住民・公共交通利用者	五城目町身体障害者協会	会長	伊 藤 英 紀		出席
13	住民・公共交通利用者	五城目町老人クラブ連合会	会長	佐々木 憲 夫		出席
14	社会福祉協議会	五城目町社会福祉協議会	事務局長	朝 野 暢 稔		欠席
15	住民・公共交通利用者	五城目町PTA連合会	会長	齊 藤 英 範		欠席
16	住民・公共交通利用者	五城目地区町内会長会	会長	猿 田 由 男		出席
17	住民・公共交通利用者	馬川地区町内会長会	会長	館 岡 昭 雄		出席
18	住民・公共交通利用者	馬場目地区町内会長会	会長	草 皆 稔		出席
19	住民・公共交通利用者	富津内地区町内会長会	会長	皇 山 啓 作		欠席
20	住民・公共交通利用者	内川地区町内会長会	会長	松 橋 武		欠席
21	住民・公共交通利用者	大川地区町内会長会	会長	八 柳 善之丞		出席
22	住民・公共交通利用者	森山地区町内会長会	会長	小 玉 京 蔵		出席
23	東北運輸局秋田運輸支局	東北運輸局秋田運輸支局	首席運輸企 画専門官	藤 原 博 之		代理 後藤明広
24	商業施設関係	湖東3町商工会	副会長	鷲 谷 嘉三郎		出席
25	商工業関係	イオンスーパーセンター五城目店	店長	大 西 義		欠席
26	病院関係	湖東総合病院	事務長	熊 谷 勉		欠席
27	学校関係	五城目町校長会	会長	石 井 正		欠席
28	学校関係	五城目町教育委員会	教育長	伊 藤 惠 朗	副会長	出席

28人中出席者 計20人

【事務局】

No	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考	1/21 出欠状況
1	五城目町	まちづくり課	課長	石 川 重 光	事務局長	出席
2		総務課	課長	嶋 崎 和 良	出納員	欠席
3		学校教育課	課長	佐 藤 恒 也		出席
4		まちづくり課	課長補佐	廣 嶋 司		出席
5		まちづくり課	主査	小 玉 洋 子	文書管理責任者	出席
6		まちづくり課	主査	門 間 良 雄		出席
7		まちづくり課	主査	猿 田 仁		欠席
8		まちづくり課	主任	大 石 靖 宣		出席
9		総務課	主任	石 井 忠 大		出席
10		学校教育課	主事	工 藤 博 亨		出席

10人中出席者 計8人